

平成21年10月19日

地域経済課長 尾本 哲朗

TEL (082) 224-5684

平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業 (平成21年度補正予算事業) (注1) 第2次採択テーマ決定

経済危機対策として中国地域の自動車、バイオ、ソフトウェア分野 における中小企業の研究開発を支援！

当局では、我が国製造業の国際競争力強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等20分野）の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発を支援しています。

平成21年度補正予算により経済危機対策として行われる本事業に対し、中国地域においては19件の応募があり、8月末の第1次採択に引き続き、以下の5件（詳細は別紙）を第2次採択しました。

これらの研究開発プロジェクトは、3～5年後のマーケットニーズを踏まえたものであり、当局が進めている「中国地域産業クラスター計画」(注2)の推進に大いに貢献するものと期待しています。

※本件は中小企業庁（<http://www.chusho.meti.go.jp/>）においても同時発表しています。

※採択案件の辞退等が発生した場合、繰り上げによる採択が行われる場合があります。

テーマ名	事業管理者
	法認定事業者
(1) 画像処理と3次元モデルを組み合わせたガイドレスロケーションシステムの開発	(財)岡山県産業振興財団 (株)工学基礎
(2) 各種タンパク質を内包できるバイオナノカプセルの酵母発酵を用いた汎用生産技術の開発	(財)岡山県産業振興財団 (株)ビークル
(3) 金属・セラミックス粉末射出成形と微細加工に係る金型技術	(財)岡山県産業振興財団 (株)藤岡製作所
(4) 固体培養技術による機能性飼料の超効率大量生産システムの開発	(財)岡山県産業振興財団 (株)フジワラテクノアート、フタバ飼料(株)
(5) 画像・動画処理用C言語のLSI化の支援システム開発	(株)プライムゲート (株)プライムゲート、(株)スピナカー・システムズ

(注1) 本事業は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく法認定（特定研究開発等計画の認定）に応募資格としている研究開発委託事業です。（参考参照）

(注2) 本計画は、国際競争力ある新産業・新事業が次々に生み出されるような産業集積の形成を目指して、当局が推進しているものです。詳細は、当局ホームページ（<http://www.chugoku.meti.go.jp/info/project/top.htm>）をご覧ください。

平成21年度補正予算 戦略的基盤技術高度化支援事業 第2次採択一覧表

テーマ名 【出口分野】	研究開発の要約	主たる 技術	事業管理者	法認定事業者
(1) 画像処理と3次元モデルを組み合わせたガイドレスロケーションシステムの開発 【産業機械・産業ロボット分野】	本研究課題では、従来方式には必要のあったガイドライン等の環境に設置する設備を用いることなく、移動体に備えられたカメラからの入力画像と環境の3次元モデルとを比較することで移動体の自己位置を推定するロケーションシステムを開発する。 さらに、無人の環境のみならず、人間と共存する環境においても適用可能とすることで、一般的な物流倉庫や住居のような環境においても実用化を図る。	組込みソフトウェア	財団法人岡山県産業振興財団（岡山県）	株式会社工学基礎（愛媛県）
(2) 各種タンパク質を内包できるバイオナノカプセルの酵母発酵を用いた汎用生産技術の開発 【医療分野】	タンパク質を標的細胞内に導入したいという川下産業のニーズに応えるため、BNC（バイオナノカプセル）（※1）生産技術を高度化し、タンパク質内包BNCを製造するための汎用性の高い新規酵母の調製、培養・精製技術を開発する。	発酵	財団法人岡山県産業振興財団（岡山県）	株式会社ビークル（岡山県）
(3) 金属・セラミックス粉末射出成形と微細加工に係る金型技術 【自動車分野】	本研究開発は、自動車の軽量化、高度化に寄与することを目的として、射出成形技術を駆使して、高熱伝導性を有しかつ絶縁性に優れる窒化アルミ焼結体製品の高度化を実現するとともに、資源・環境対策にも有効な技術開発を目指す。 この目的達成のため、射出成形・脱脂焼結技術を駆使した窒化アルミの複雑三次元形状の射出成形・脱脂焼結体の製作とその製造プロセスの確立を実施する。	粉末冶金	財団法人岡山県産業振興財団（岡山県）	株式会社藤岡製作所（大阪府）
(4) 固体培養技術による機能性飼料の超効率大量生産システムの開発 【バイオマス（飼料）分野】	食料自給率向上のため食品製造業から排出されるバイオマスを家畜飼料として有効利用する必要がある。特に発酵技術を活用した高品質で安価な機能性飼料の開発が求められている。 そこで、発酵に最適で安全な微生物を探索しバイオマスを基材とした大量培養技術を確立し、機能性に優れ安価な発酵飼料を開発する。この飼料を畜産で効果的に利用する技術も確立する。これにより安全安心な食料供給とともに循環型社会構築に貢献する。	発酵	財団法人岡山県産業振興財団（岡山県）	株式会社フジワラテクノアート（岡山県） フタバ飼料株式会社（岡山県）
(5) 画像・動画処理用C言語のLSI化の支援システム開発 【自動車・情報家電分野ほか】	現在、高度に変化する製品の機能の要望に対して設計技術者不足となっている現状があり、技術者のいる特定企業への回路設計が集中することでコストの増大が起きている。 本研究開発では新製品開発における動作制御部分の開発においてC言語（※2）を用いた汎用性のあるフレームワーク（※3）を開発し、川下企業の新製品開発の開発時間を1/10に削減、また、生産性を30%向上させることによりコスト削減を目指す。	組込みソフトウェア	株式会社プライムゲート（山口県）	株式会社プライムゲート（山口県） 株式会社スピナカー・システムズ（神奈川県）

※1 バイオナノカプセル 酵母の発酵能力を利用して生産されるナノサイズの中空粒子（カプセル）のこと。カプセルの原型はB型肝炎ウイルスの外殻で、その中空部分に医薬品などを取り込ませ、患部に送達する機能を発揮することが期待される。

※2 C言語 1972年にアメリカAT&T社のベル研究所でD. M. Ritchie氏とB. W. Kernighan氏によって開発されたプログラミング言語。1986年にアメリカ規格協会(ANSI)によって標準化され、国際標準化機構(ISO)や日本工業規格(JIS)にも標準として採用されている。

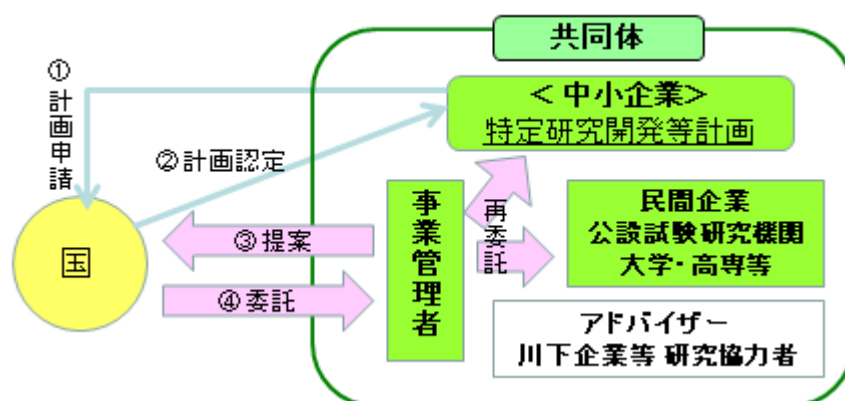
※3 フレームワーク アプリケーションソフトを開発する際に頻繁に必要なとされる汎用的な機能をまとめて提供し、アプリケーションの土台として機能するソフトウェア。

平成 21 年度補正予算戦略的基盤技術高度化支援事業の概要

1. 事業の概要

「中小ものづくり高度化法」に基づき、我が国経済を牽引していく重要産業分野の競争力を支えるものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削、めっき等）の高度化に向けて、中小・小規模企業が行う革新的かつハイリスクな研究開発を支援する。

スキーム図



2. 法律の認定

平成18年に施行された「中小ものづくり高度化法」において金型、鋳造、めっきなど全20分野を「特定ものづくり基盤技術」として指定し、各基盤技術毎に指針を策定。中小企業者等が他の事業者と協力して指針に基づき「特定研究開発等計画」を作成し、経済産業大臣の認定を受けることができる。

「特定研究開発等計画」について「中小ものづくり高度化法」の認定を受けた中小企業が他の企業、大学、公設試等と協力して行う研究開発プロジェクトを支援。

3. 研究開発の期間及び規模

- ☐ 契約期間 単年度
- ☐ 委託金額 (一般枠) 5,000万円以下
(川下分野横断枠) 1億円以下

4. 平成21年度補正予算事業 採択状況

	中国		全国	
	一般枠	川下分野横断枠	一般枠	川下分野横断枠
応募件数 (件)	18	1	583	75
採択件数 (件) (第1次)	6	1	131	27
// (第2次)	5	0	89	6
// 合計	11	1	220	33
倍率 (倍)	1.6	1.0	2.7	2.3

※第1次については8月31日採択済み